

見どころ満載の今回の心臓リハビリテーション学会

一般口演

学術集会の一番大事な会員の研究発表（一般口演）では、いままで発表 6 分 質疑 2 分であった時間を発表 7 分 質疑 3 分と延長して、さらに専門的視点からコメント・助言するディスカッサントを配置いたしました。発表される会員の皆さんと討論が盛り上がるよう期待いたします。

さらに、一般口演とポスターを選考して**優秀演題賞**を表彰いたします。お楽しみに

教育講演・教育基礎講座

すべてのセッション（スポンサー共催除く）はオンデマンド配信いたします。当日参加できなかった方も 6 月 30 日までに登録すれば 7 月 19 日まで視聴が可能です。とくに教育講演（60 分）9 演題と教育基礎講座（30 分）20 演題はすべてオンデマンド配信のみで視聴できます。繰り返し見ることができますので学習に最適です。一流の講師陣にお願いしました。どれも魅力いっぱい臨床に直結したわかりやすい内容ですので是非お見逃しなく。

特別講演・招請講演

オリンピックイヤーとして、地域住民の健康増進や疾病予防に対するスポーツのもつ可能性を重視しておられるスポーツ庁の室伏広治長官の特別講演と私が留学したドイツ体育大学循環器スポーツ医学研究所の Bjarnason-Wehrens 教授の招請講演があります。彼女は、故 Rost 教授と共に、ドイツ型外来心臓リハビリテーションをケルン中心に作り上げた現場での功労者です。

多様性（他領域での可能性）

今回のテーマは「多様性を追求する心臓リハビリテーション」としました。心臓リハビリテーションの他領域での発展の可能性を探るセッションとして、

会長特別企画 1（腫瘍循環器リハビリテーション）

会長特別企画 2（骨関節疾患と軽症脳卒中の疾病管理とリハビリテーション）

パネルディスカッション 5（Sports Cardiology：アスリート診断に検査技師のスキルを活かし切る）

シンポジウム 10（EIM: Exercise is Medicine の潮流-社会的孤立を防ぐため-）

を組んでいます。

また心の問題を理解するため宗教家の講話を入れた、

シンポジウム 5（心臓リハビリテーションにおける心の癒し・カウンセリング）

は神父様、住職様、公認心理師の経験などをお話しいただく初めての内容です。

多様性（チーム医療・多職種）

心臓リハビリテーションに関わるスタッフ向けに各職種のセッションを設けました。

管理栄養士：ジョイントセッション（栄養から攻める心臓リハビリテーション）、

薬剤師：パネルディスカッション9（心臓リハビリテーションにおける漢方治療の有用性）、
シンポジウム12（心リハスタッフがこれだけは知っておきたい薬の知識-各職種との連携-）

理学療法士：ジョイントセッション（心臓リハビリテーションにおける理学療法の多様性）

看護師：看護交流会、看護師が行う心臓リハビリテーション

公認心理師、臨床心理士：シンポジウム9（心臓リハビリテーションにおける公認心理師の役割-パート2-）

多様性（介入、運営）

心臓リハビリテーションの介入や運営に関する様々なモダリティーについて知識を深め、スタッフとして引き出しの多さを持つことは重要です。

パネルディスカッション1（運動療法のベストプラクティス-多様な運動療法をどう活かすか-）

シンポジウム4（患者の多様性に対応した心臓リハビリテーション運営）

シンポジウム11（呼吸筋トレーニングのエビデンスと実践）

循環器病対策基本法

循環器病対策基本法が成立し、今後の循環器診療が大きく変わろうとしています。その中で心臓リハビリテーションの占める役割は非常に重要であることが言われています。

シンポジウム8（循環器病対策基本法と心臓リハビリテーション学会）

シンポジウム2（超高齢者への心臓リハビリテーションの挑戦）

パネルディスカッション3（回復期心臓リハビリテーションを考える）

シンポジウム7（地域包括ケアと心臓リハビリテーションの実践）

これらを通じて、今後のわが国の循環器診療と心臓リハビリテーションの進むべき道について考えてみましょう。

ガイドライン

今年の3月日本循環器学会学術集会において改訂版ガイドラインが公表されました。当学会でのお披露目もかねて紹介をいたします。現在ポケット版を作成中で、会員の皆様にも配布する予定です。

シンポジウム1（心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン
2021年改訂版）

新型コロナウイルス

コロナ禍での心臓リハビリテーションをどのように実践していくか、ともに考えてみたいと思います。

パネルディスカッション2 (with コロナ時代の心臓リハビリテーション)

ジョイントセッション (コロナ禍における心臓リハビリテーションの心身医学的課題)

ジョイントセッション (コロナ禍で得た経験を心臓・腎臓リハビリテーションに活かす)

遠隔医療

これからの新しい分野として注目されている遠隔医療やIoTを取り上げました。

パネルディスカッション6 (遠隔心臓リハビリテーション)

共催セッション (遠隔心臓リハビリテーションの夜明け)

パネルディスカッション4 (IoTやNew Deviceを利用した未来につながる心臓リハビリテーション)

新たなエビデンスと国際交流

最近心臓リハビリテーション分野でのわが国発のエビデンスが多く発信されてきています。学会主導の研究結果も出され、非常に喜ばしいことであり、紹介のセッションを設けました。

会長特別企画3 (わが国発心臓リハビリテーションのエビデンス)

今回はAsia PReventを再開し、EAPCとのジョイントセッションも行います。

Asia PRevent、JACR-EAPC Joint Session

症例検討

特別企画 (症例から考える！心リハにおける臨床と基礎の架け橋；心筋症編)

U40心不全ネットワーク U40で挑む！！心臓リハビリチーム公開カンファレンス

検査・測定ハンズオン

測定法セッション (心臓リハビリテーションに関連する測定法と評価の実習)

業者による展示も多く行っており、書籍販売ブースもあります。ゆっくり休憩するスペース (一般用とVIP用) も設けました。

感染対策の上お越しくください。皆さんとお会いできるのを心待ちにいたしております。

第27回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

会長 牧田 茂